

学生の皆さんへ

教育開発センター

生成 AI の活用について

近年、生成 AI は急速に進化し、社会の様々な場面で活用されるようになってきました。学習活動においても、皆さんの学びを深めるために生成 AI を活用できる場合があります。

しかしながら、生成 AI が学びにつながるのは、あくまでも適切に使用される場合に限りです。立正大学では「生成 AI の利用についての注意喚起」を作成し、利用の際に注意すべき点を示しています。例えば、自分の思考でその結果を評価し、疑問点があれば他の資料で検証する姿勢が大切です。生成 AI の出力をそのままのみにしたりすることは、学びを深めることにはなりません。また、AI が生成するコンテンツには他者の著作物やアイデアを含むことがあるため、適切な引用や出典を明示せずに使用することは著作権侵害にもつながります。特に、生成 AI の出力をほぼそのまま用いるような行為も不正行為に該当しますので注意が必要です。

ただし、生成 AI をどのように活用するのかは、授業によってもルールは異なります。自分で収集した資料だけを用いて、自分の頭でじっくり考えることを重視するような授業においては、生成 AI の使用を一切禁止するという場合もあります。生成 AI の使用について担当教員から方針が示された場合は、必ずそのルールに従って生成 AI を活用してください。

生成 AI の利用についての注意喚起

近年、生成 AI（人工知能）の技術が急速に進化し、学術活動においてもその利用が広がっています。生成 AI は、テキストの生成、画像や音声の作成、データ分析など、多岐にわたる機能を提供し、学びを支援する強力なツールです。また、生成 AI を適切に活用する力は、社会でも求められるものとなっています。そのため本学では、生成 AI を学習活動のサポートツールとして活用することを認めていますが、その使用方法に関しては注意が必要です。

(1) 生成 AI を学習や研究で使用すること自体は認められています

立正大学では、生成 AI の使用自体は認められています。ただし、学習活動や研究活動上の不正行為に該当するような利用は認められていません。また、各授業の担当教員によって使用に関する方針が異なる場合があります。そのため、生成 AI を利用する前に、各授業のルールや指針を確認し、教員の指示に従うことが求められます。

生成 AI はあくまで学業をサポートする補助的なツールであり、学びを深めるために使用すべきです。そのため、生成 AI の利用に際しては、自己学習を促進し、研究倫理を守ることが大切です。

(2) 不正行為の防止と禁止

生成 AI を利用する際には、不正行為を避けなくてはなりません。

不正行為の具体例

課題の丸投げ

生成 AI を利用して、課題を全て生成 AI に依頼し、その生成されたコンテンツをそのまま提出する行為は不正行為に該当します。生成 AI の結果はあくまでサポートツールであり、そのまま使用することは学びを深めることにはなりません。

他者のアイデアや言葉の盗用

生成 AI が生成したテキストを無断で使用し、それを自分のものとして提出することも不正にあたります。生成 AI が生成するコンテンツには他者の著作物やアイデアを含むことがあるため、適切な引用や出典を明示せずに使用することは著作権侵害にもつながります。

生成物を自己の作品として提出する

生成 AI が作成した内容を、自分が作成したものとして提出することも禁止されます。生成 AI の生成したコンテンツを課題等で利用する際は、そのことを明記し、生成 AI の出力をどのように活用したかを適切に説明する必要があります。

本学では、生成 AI を学業における補助ツールとして活用することを禁じてはませんが、その使用方法が不正行為に該当しないように、学生一人ひとりが適切に利用する責任があります。

(3) 生成 AI の利用における責任

生成 AI を利用することには、それに伴う責任が伴います。生成 AI は便利なツールですが、使い方を誤ると誤った情報を拡散したり、研究倫理が損なわれたりする可能性があります。そのため、学生は生成 AI を利用する際には、その利用方法を見直し、適切に活用することが必要です。生成 AI の結果を利用する際には、その内容を他の信頼できる情報源と照らし合わせ、必ず確認することが求められます。生成 AI が生成する情報は必ずしも正確であるとは限らないため、学生は自分の思考でその結果を評価し、疑問点があれば他の資料で検証する姿勢が大切です。

また、生成 AI を利用した場合、その利用部分を明記し、クレジットを明確にすることが必要です。他者のアイデアや文章を無断で使用することは、研究倫理に反する行為です。そのため、生成 AI を利用する際には、適切な引用を行い、誰がその情報を生成したのかを示す責任があります。

まとめ

生成 AI は学業を支援する有用なツールですが、その利用には注意が必要です。本学では、生成 AI の使用を許可していますが、研究倫理を守り、不正行為を行わないようにすることが求められます。生成 AI は学びをサポートするための道具であり、学問的な目的に適した形で利用することが重要です。各授業の担当教員の方針に従い、生成 AI の使用方法を理解し、適切に活用することで、学問的な成長を促進できます。生成 AI を賢く利用し、自己の学びを深めていきましょう。

以上